第27回 つながれ、ひろがれ、エコメッセ「千葉県最大の環境活動見本市」

エコメッセ2022 in ちば

2022年度
実施報告書

今年のテーマ　people：笑顔のバトンをつなげよう

◆
開催概要
実行委員会企画
ユース出展紹介
会場出展
オンライン出展
◆

出典：国際連合広報センター

2023年2月

エコメッセちば実行委員会

開催概要

● 2022 年 10 月 22 日（土）からオンライン展示開始、23 日（日）には会場開催を行いました。

「エコメッセちば」は、持続可能な社会の実現（SDGs）を目指し、市民・企業・行政・学生がパートナーシップ（協働）で運営しています。1996 年にスタート、子どもから大人まで環境について学び・体験・交流する環境イベントです。

今年度はオンライン出展と会場出展のハイブリッド開催となりました。10 月 22 日 10 時からオンライン配信を開始、23 日 9 時 45 分からは会場開催を行いました。会場開催については、コロナ感染対策として 3 つの時間枠を設け、事前予約制を取りました。

●今回のテーマは、「people：笑顔のバトンをつなげよう」です。

エコメッセちばは、2018 年から SDGs をテーマに開催してきました。近づく 2030 年のゴールをさらに目指し、2020 年からは SDGs17 のゴール 5 つの P（Planet、Prosperity、People、Peace、Partnership）の分野から毎回テーマを決めて開催しています。

2022 年に取り上げる「people（人間）」は、SDGs の 17 の目標の 1 から 6 が該当します。持続可能な「people（人間）」とコロナ禍をポジティブに乗り切ることを意識して「笑顔のバトンをつなげよう」をテーマにしました。

持続可能な開発目標（SDGs）を支える 5 つの P

出典：国際連合広報センター

	人間 (People)	すべての人間が尊厳を持ち、平等に、かつ健全な環境の下でその潜在能力を発揮できるようにする。	目標 1、2、3、4、5 および 6
	豊かさ (Prosperity)	すべての人間が豊かで充実した生活を送れるようにする。	目標 7、8、9、10 および 11
	地球 (Planet)	持続可能な消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通じ、現在と将来の世代のニーズを充足できるようにする。	目標 12、13、14 および 15
	平和 (Peace)	恐怖と暴力のない平和で公正かつ包摂的な社会を育てる。	目標 16
	パートナーシップ (Partnership)	連帯の精神に基づき、すべての人々の参加により、このアジェンダの実施に必要な手段を動員する。	目標 17

●プログラムと実績

会場開催プログラム

	会場出展 コンベンションホール	ワクワク川すごろく ～川の秘密を入手せよ！～ 会議室201	かけ橋ラリー ～みんなが笑顔な世界へ～ 会議室204	親子で学ぶ！SDGs映画 『プラスチックの海』 会議室203	【同時開催イベント】 ユース活動発表・交流会 会議室202
9:30	9:45　開会式：実行委員長挨拶、副実行委員長紹介・挨拶、会場開催宣言（一財）千葉県環境財団				
10:00	①10:00～11:50	①10:00～11:00	①10:00～11:00	①10:30～11:15	
11:00		②11:00～12:00	②11:00～12:00	②11:30～12:15	
12:00	②12:05～13:55				
13:00		③13:00～14:00	③13:00～14:00 予約不要	③13:30～14:15	13:30～15:30
14:00	③14:10～16:00	④14:00～15:00	④14:00～15:00 予約不要	④14:30～15:15	
15:00		⑤15:00～16:00	⑤15:00～16:00 予約不要		
16:00	15:50　閉会挨拶　（一社）千葉県経済協議会				

出展数・来場者数の推移

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020 *1	2021 *1	2022 年度 *5	
										会場出展	オンライン出展
出展団体数	137	118	112	100	96	111	113	60 *2	60 *2	**50**	**33** *2
出展ブース数 (実行委員会ブースは除く)	220	208	171	155	133	166	166	-	-	**66**	-
来場者数	10,200	12,000	12,000	8,500	8,000	9,000	10,500	10,828 *3	11,761 *4	**1,219**	**7,033** *6

*1 オンライン開催　*2 オンライン出展者数　*3 視聴者数（2020.12.31 時点）　*4 視聴者数（2022.1.31 時点）　*5 オンライン＋会場開催　*6 視聴者数（2023.1.31 時点）

実行委員会企画

親子で SDGs を体験しよう！

●川すごろく～川の秘密を入手せよ～

国際会議場 201 号室では、学生が実際に養老川と利根川の視察を通して学んだことや体験したことを元に作成したすごろくを開催しました。

利根川と養老川の 2 つのコースに分かれており、現地の写真や川に関するクイズを親子で楽しく学ぶことができる体験の場となりました。川だけでなくその周辺にある橋やダム、滝、渓谷なども再現することで現地の様子を伝ました。

また、海洋プラスチックゴミを使用した魚のアートを参加者の皆様と一緒に作成することで川と海の繋がりを伝えることができました。さらに大きな世界地図を用いて、世界の川問題についても視野を広げたことで日本とは異なる世界の川の現状や川がもたらす影響を伝えることができました。

写真やクイズから千葉県の川を参加者の皆様が知るだけでなく、学生が現地で感じたこともすごろくを通じて伝えることができたため、企画をした学生の学びにもなりました。

■参加者の声

参加していただいた方々からは､親子で楽しく水の大切さや千葉県にある身近な川について学べたという意見を多くいただきました。特に、親子で川を再現したお部屋でクイズを通してお子さんもご両親の方も学べるという点に魅力を感じていただけました。

●かけ橋ラリー

小学生を対象に、多様性や平等を伝えることを目的にしたスタンプラリーをしました。

無人と有人のチェックポイントがあり、無人のチェックポイントでは、動画や自作の冊子を用いて、有人のチェックポイントではコミュニケーションを通して伝えていきました。無人のチェックポイントでは、保護者が子どもに説明する光景が印象的で、親子で学ぶことは子どもの学習においてとても大切だと感じました。有人のチェックポイントでは、子ども達が理解してくれるか心配ではありましたが、実際の交流を通して、適切な言葉を見つけていくことで解決できたと考えています。

保護者の反応も心配な点ではありましたが、保護者も巻き込む形式を取ることで、親子での積極的な参加を達成できました。また、景品として用意したブラックサンダーが児童労働ゼロを掲げて作られていることを説明すると、とても良い反応がもらえました。

本イベントの感想や今回学んだことをもとに「笑顔な世界」について葉っぱの形の紙に書き、作成したウィッシュツリーでは、幹と枝しかなかった樹がイベント終了時には生い茂った大樹になっていて、本イベントの未来への可能性を感じることができました。

■参加者の声

参加者からは、勉強になった、写真やイラスト、グラフを使っていたからわかりやすかったという感想を頂き、安心と共に嬉しいと感じました。

そんな中、特に印象に残ったお言葉は、子どもにこういう機会を設けてくれてありがとうという感謝の言葉でした。今まで企画側として関わったイベントで参加者から感謝されることがなかった為、とても達成感に繋がりました。

● SDGs 映画『プラスチックの海（吹替／ 22 分)』上映会

2022 年 10 月 23 日（日）幕張メッセ国際会議場 203 室（2 階）にて､「エコメッセ in ちば 2022」親子で学ぶ！ SDGs 映画『プラスチックの海（吹替／ 22 分)』上映会（テーマ『SDGs 14. 海の豊かさを守ろう』）を開催。

世界的に大きな課題となっている海洋プラスチック問題を追った映画『プラスチックの海』を鑑賞したあと、NPO 法人グローバルボードの大畑さんよりマイクロプラスチックや日本のビーチクリーンの現状についてのレクチャーを聞き、世界の海ゴミの現状、環境について学びました。

また、事前アンケートや、映画鑑賞後の対話により、親子（小学生とその保護者など）で SDGs について、また、身近な環境問題に関する今後のアクションなどを、より深くみんなで考える場となりました。あわせて千葉近辺の海で採取したゴミや写真、再生プラスチックの展示も行いました。

■参加者の声 (アンケート等から)

事前アンケートでは、回答数 31 の中、海のプラスチックごみのことを知っているかという質問ではすべての人が「はい」と答えました。また、家庭での取り組みについて、子どもたち自らが分別するなど、ゴミ問題を自分ごととしている家庭が多いように見受けられました。ビーチクリーンにも意欲的な回答でした。大人からは、海のゴミといっても、もともとは陸にあったものであり、海に出てしまい取れなくなってしまう前に、なんとかしたい、企業や行政に働きかけていきたいという感想がありました。

自分たちにできることは何かを探るような感想や、知ることでアクションを変えていこうという感想が多かった。

● SDGs 団体インタビュー　株式会社イオン×学生団体おりがみ

イオン株式会社環境社会貢献担当者と学生団体おりがみ（土谷・大澤）がインタビューしました。内容はイオン株式会社の持続可能な社会を目指す環境に配慮した取り組みをお聞きしました。植樹の事業や環境教育、環境に配慮した商品、プラスティック容器の取り組みなどについてでした。イオン株式会社が取り組まれている事業や商品だけでなく、私たち消費者と一緒に取り組むことができるリサイクルや植樹への取り組みについてもお話しいただけました。

私たち自身も環境に配慮した行動や選択を日々実践していくことで環境問題の解決に繋がっていくと感じることができました。詳細は、エコメッセちばのホームページをご覧ください。

エコメッセちばホームページへ

●【同時開催】ユース活動発表会 2022 in エコメッセちば

NPO 法人環境パートナーシップちば主催の「ユース活動発表会 2022 in エコメッセちば」を「エコメッセ 2022 in ちば」会場２０２室で同時開催しました。

ユース世代が環境活動に取り組むことにより地域の課題に気づき、解決するための力をつけていくことが大切だと考え、環境活動に取り組んだユースと受入れ団体との交流、人と人との繋がりによって醸成されていく「未来に向けての対話」を求めて開催しました。

（一社）Change Our Next Decade 代表の矢動丸琴子さんから「ユースへのメッセージ」の後､ユースによる「いすみライフスタイル研究所」「シェア里山～ヤマナハウス」「亀成川を愛する会」「浦安三番瀬を大切にする会」でのボランティア報告を聞いた後に、参加者全員との交流となりました。

「この活動や交流を通して、自分の知らない世界がまだまだあることを実感した。」､「多くの人と繋がることができた。」､「身近な環境問題に対して当事者であるという自覚が大きくなった。」などの意見をいただきました。当日の様子を YouTube に記録しました。

https://www.youtube.com/watch?v=-9QxfewTwds

ユース出展紹介

大学生・高校生などユース（若者）による出展

●明治大学商学部水野勝之ゼミナール（会場 SDGs1、オンライン SDGs11）

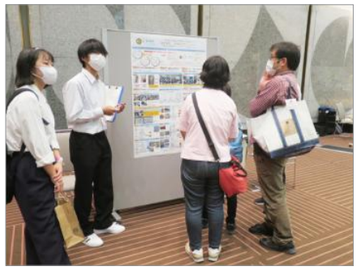
明治大学商学部水野勝之ゼミナールでは社会貢献の実践を通して経済学と統計学を研究するという姿勢で勉強しています。今回は、浦安班（2 年生 4 名）の社会人講座の実施、群馬県嬬恋村班（2 年生 4 名）の「結婚率の向上、離婚率の低下」をテーマにイベントサポートの 2 つを展示しました。

前者のグループは近年台頭してきている MMT（現代貨幣理論）を浦安市民に易しく伝えるための講座を開きました。難しい議論を一般市民の方々に理解していただきたいからです。後者のグループは、9 月に行われた嬬恋村での「キャベツ畑の中心で愛を叫ぶ」（主として夫が妻に愛を叫ぶ。もちろん他の組み合わせでも可）をサポートしました。そのイベントと彼らのコンセプトの組み合わせの意味合いが分かりやすく、来場者が次々に訪れ、休む間もないほど説明に追われました。

彼らのコンセプトと実践の意義に対して多くの人たちが共感してくださり、学生たちはいよいよ自信を深めました。この内容については明治大学商学部の HP に掲載しました。

学部ホームページへ

●長生高校お掃除プロジェクト（会場 SDGs3）



私たちは学校の清掃を科学的にグレードアップさせることを目的とした生徒有志団体です。あまりお金をかけられない公立学校で、見た目だけでなく、衛生的な環境にするための清掃方法を、花王株式会社など多くの企業・大学の方からのご意見をいただき、持続可能な形でマニュアル化できないかと日々活動しています。

エコメッセでは多くの温かいお言葉と、率直なご意見をいただき、自分たちが進めている方法を客観的に振り返るヒントをたくさん得ました。私たちが出した結果の 1 つとして、「清掃用具が汚いと掃除の効果は低い」という事があります。しかし、清掃用具を頻繁に取り替えることはエコロジカルなのだろうか、という課題も浮かび上がり、現在は「衛生的な学習環境作りのための清掃方法」と「清掃用具の使い捨て」との対立関係を、より地球環境への影響が少ない形へ解消させるべく検証を行っています。

高校ホームページへ

●長生高校地学班（オンライン SDGs6）

長生高校サイエンス部は、物理班、化学班、生物班、地学班、数学班の 5 つの研究班があります。今年のエコメッセでは、生物班を中心としたチームが会場出展「お掃除プロジェクト」（開発目標 3）、地学班がオンライン出展「水のろ過の研究」（開発目標 6）を行いました。

日々の活動では、それぞれの研究班の特性を生かし、地域の生態調査や天体観測、和算（江戸時代の数学）の研究などを行っています。

千葉県立長生高等学校サイエンス部地学班

●千葉工業大学分子生態工学研究室（会場 SDGs6）

千葉工業大学分子生態工学研究室では、千葉県内の水環境を対象に、生物・水質・底質調査から生態系の構造と機能について解析し、バイオエコエンジニアリングを活用した環境保全を推進すべく研究に取り組んでいます。

今回のエコメッセでは、SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」をテーマに展示を行いました。具体的には、今年度の卒研テーマである▽生物指標による県内河川環境マップの作成▽谷津干潟（谷津川･高瀬川）の生物環境調査▽小松川自然地（荒川河口干潟）の生物環境調査▽蓮沼海浜公園ボート池の生態系調査▽マイクロコズムを活用した WET 試験法による環境毒性評価――などを発表し、また、東京湾千葉県沿岸域の現地調査で採取したマイクロプラスチックの標本を展示しました。

発表内容に関して、学校関係のみならず、行政や NPO の方々等からも貴重なコメントをいただき、学生にとっても大変有意義な機会であったと思います。

学科ホームページへ

●千葉工業大学 CIT 南澤研究室（会場 SDGs17）

千葉工業大学　南澤研究室は、大学院先進工学研究科　生命科学専攻および先進工学部生命科学科の学生が活動しています。研究室では、長い年月を経て地球で生き残る能力を獲得した原種植物の多様性回復に寄与する活動を柱としています。日本には、原種の柑橘種子や南房総の金盞花など驚く能力を持つ植物が家畜化されずに残存しています。私たちは、その力を科学に基づいて分析し、秘められた力をアルツハイマー病などの治療法のない病気の予防薬成分や香粧品の成分として提案しています。

SDGs をテーマに 3 年ぶりのエコメッセちばに対面参加させていただき、研究室一同感謝しております。参加団体の皆様が熱く活動報告をされているのを肌で感じられ、我々一同勉強させていただきました。何よりも若い学生の発表を熱心に暖かくお聞きくださっていた先輩方のご様子に感謝しております。研究室の活動内容に関しては以下の URL をご参考いただけます。

大学 SDGs ホームページへ　関連ホームページへ

●日本大学生産工学部環境安全工学科（会場 SDGs7）

日本大学生産工学部環境安全工学科では、私たちの身の回りの環境問題に対して幅広い工学的な観点から解決に取り組んでいます。特に、地球環境・生活における環境・安全負荷という観点を学び、環境にやさしい次世代のモノつくりを担うエキスパートを養成しています。

当日は、再生可能エネルギーとして注目されている水素の製造・利用・将来構想について説明や議論を行いました。高校生・大学生・ご家族など幅広い層の来場があり、体験型のブースなども楽しみながら取り組んでいただけました。

また、出展者間でも多くの人と交流することができ、環境問題解決へ向けた情報交換を行うことができました。

近年では、環境問題は複数の要因が関連していることが多く、解決するためには、複数の団体で協力して解決に取り組んでいく必要があると感じています。このような産学官が連携できる環境イベントは非常に貴重であることを改めて認識いたしました。

学科ホームページへ　関連ホームページへ

●植草学園大学（オンライン SDGs15）

植草学園は、若葉区の小倉キャンパスに大学・短期大学を併設し、教育・保育・保健医療分野の人材を養成しています。

ここには、学園が一体となって環境保全、整備に努めている約 2 万㎡におよぶ「植草共生の森」があります。「田植え体験」や「ビオトープ祭」などの各種イベントでは、学生と地域の子どもたちが、豊かな自然を通して交流を深めています。

出展に向けた動画製作には、学生が直接携わり、『自然と学び』を繋げる役割を担っています。

学園ホームページへ

植草学園大学

●学生団体 CHANGE（オンライン SDGs16）

学生団体 CHANGE は「人間主義」という言葉を軸に、物事を学生目線で捉えることを意識しながら、各大学有志で社会問題を取り上げ、展示を行っています。

その中の一つとして「エコメッセ in ちば」で「学生が考える平和とは」をテーマに出展を行うことができました。視聴してくれた方々も「学生の熱と力を感じた」などの声を頂き、実際に出展した学生達も「平和について漠然としていたので、良い機会になった」と実感しています。

●千葉大学環境 ISO 学生委員会（会場・オンライン SDGs17）

千葉大学環境 ISO 学生委員会は、本学における環境マネジメントシステムの構築と運用において、環境方針に掲げられた学生の主体的な参加を促進するために、2003 年 10 月に設立されました。現在では、10 学部から約 300 名の学生が参加しております。

学生委員会の主な役割としては、環境マネジメントマニュアルや環境目的・環境目標・実施計画の原案作成など、環境マネジメントシステムの主立った部分への参加があります。さらに学生は大学内だけでなく、地域の方々や企業と連携してさまざまなプロジェクトも行っております。今年度は、「米ストロー」を千葉大学の生協にて販売いたしました。今年度のエコメッセちばに出展させていただきまして、多くの方に環境 ISO 学生委員会の活動を宣伝ができたことで新たな関係も作ることができ、今後の活動を発展させるきっかけ作りができたと実感しております。エコメッセちばへの出展を通して、とても実りのある活動ができました。

千葉大学環境ISO学生委員会

団体ホームページへ

会場出展

People（人間）

すべての人間が尊厳を持ち、平等に、かつ健全な環境の下でその潜在能力を発揮できるようにする。

明治大学商学部水野勝之ゼミナール

「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」に対応。浦安での子ども食堂の調査やフードパントリーの調査を行っている。大学生も参加し、その実体験に基づいて二つの展示を行う。第 1 は、調査結果をポスターとして展示する。第 2 は、テーブルにて貧富の格差が付くことがどのように大変なことなのか、貿易ゲームなどを通して子どもたちに実体験させる。

一般社団法人子供プラス未来

2022 年にスタートした子育て世帯の支援×食品ロス削減の取り組み「こどみらマルシェ（子ども食堂）」を中心に展示を行います。大手百貨店やお菓子の製造・流通を行っている企業等と連携してひとり親世帯などの子育て世帯を支援するこどみらマルシェの

活動を紹介する他、子どもや来場者を対象に SDGs についてのクイズを実施予定です。

独立行政法人　国際協力機構

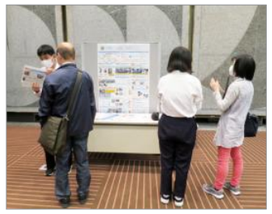
開発途上国に関する写真等のパネル展示や JICA 海外協力隊等の出前講座、個別相談ブース（当日出展なし）。

社会福祉法人あかね ワークアイ・船橋

点字名刺のアピールと、封筒・コースター・鍋敷き・名刺入れなど、使用済みの点字用紙から作った製品の配布を行います。

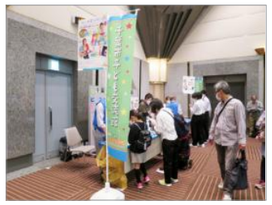
長生高校お掃除プロジェクト

長生高校では普段の清掃のやり方を改善する取組を行っています。この取組を基盤に花王株式会社とコラボレーションし、衛生環境を向上させるための学校清掃マニュアル作りに参画しています。目に見えるホコリやチリだけでなく、目に見えない細菌・ウィルス・ダニの除去まで気を配り、健康に過ごせる学校づくりを目指しています。



アクティオ株式会社　千葉市子ども交流館

施設の見どころを紹介し、いらなくなったおもちゃのカプセル等を使ったエコな材料で工作をします。ピョコピョコ動く不思議な石を作ります。



アメジスト・アート出版

質の高い教育のための絵本（印刷絵本、動画絵本）の紹介、販売。

千葉県企業局業務振興課

安全でおいしい「水道水の給水」や、低廉豊富な「工業用水の供給」、県内のまちづくりや企業ニーズ等を踏まえた「土地の分譲・貸付」を行う公営企業です。

千葉工業大学生命科学科分子生態工学研究室

干潟・河川・湖沼を対象とした生物・水質・水環境健全性調査および分子生態工学的手法による水環境修復・保全研究のポスター発表。

Prosperity(豊かさ)

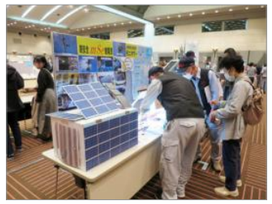
すべての人間が豊かで充実した生活を送れるようにする。

一般社団法人 日本プラスチック食品容器工業会

私たちの身近なところで使われ、軽くて丈夫、安心、安全、衛生的に保護・保存できると共に、食品流通・輸送にも欠かせないプラスチック食品容器を紹介します。プラスチック成形機の実演、そして体験も出来ます。

有限会社エムエスイー

創電気、創安全、事業内容の紹介、再生エネルギーと mSe の取組についてクイズ形式での参加呼びかけ、LIB 太陽光非常電源の展示紹介、ソーラー防犯灯の展示紹介、メラ監視システムの展示紹介。



自然エネルギーを広めるネットワークちば

(1) 未来をつくる”でんき”のえらび方 (パワーシフトキャンペーン)(2) 自然エネルギー 100% を実現する未来へ (3) 会員団体の活動紹介

生活協同組合コープみらい

コープデリ電気を始めコープ商品などを通じて環境への取り組みをコープデリは行っています。楽しく知って頂けるようゲームを行いながらご紹介いたします。ぜひお越しください。お待ちしてます。

日本大学生産工学部環境安全工学科

私たち、環境安全工学科で行っている地球環境問題への取り組みを紹介します！再生可能エネルギーとして注目されている水素を使った燃料電池の紹介や応用例、安全・安心で持続可能な社会をデザインしたものづくりもあわせて紹介いたします。

株式会社 D&P メディア

メディアユニバーサルコミニュケーションデザインの手法を用いて、高齢者や障害者にも確実に情報を届ける「情報保障」で、全ての人に情報を届けることで情報伝達の不平等をなくし、住みやすい社会を作る。コンセプトは「みんなの見やすさの実現」。

エコトンボの会 / 日本エコトイ協会

家庭に出る牛乳パックやサランラップ芯等、及び産業廃棄物等を使って子ども達に物作りの楽しさと地球環境、温

暖化防止の大切を教えています。エコトンボ･カプセルコマ･ロケットシューター・フロックボイス・割りばしゴム鉄砲等。

カモミールの森

日頃の活動報告や、他団体とのコラボレーションについての展示。最近特に意識しなくても身の回りでハンドメイドや地域活動や子どもの教育に関わっていらっしゃる皆さんが、SDGs 分野と何かしら重なる活動をなさっていると感じます。考える事と同時に並行して実際に手や体を動かしながら世の中と関わることを行っていきたいと思います。

株式会社 LIXIL LWT 千葉支社

災害によって避難所となるトイレを超節水型（断水時に１リットルの水で流すことが可能です）に変えて少ない水で使用出来るトイレシステムを展示します。理想はみんながどんなときでも同じように使える水洗トイレ。たとえ災害が起こったとしてもいつもと同じように無理なく安心して使えるトイレです。

Planet（地球）

持続可能な消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通じ、現在と将来の世代のニーズを充足できるようにする。

花王グループカスタマーマーケティング㈱

「３Ｒごみ削減啓発」を目的としたクイズ形式のイベントキット展開を行います。参加者には衣料用洗剤アタックのサンプルを進呈致します！

フェアトレードちば

フェアトレードについてのパネル展示や資料配布を行います！フェアトレードの木彫りスタンプを使って、メッセージカードを作ってみませんか？グローバル＆ローカルの地域産品として創出したちばフェアトレードコーヒーの展示販売も行います。そのほかフェアトレードの食品や雑貨の販売もあるかも？！

PRIYO handicrafts

バングラデシュ製のフェアトレードを通して、「作る人」「使う人」「みんなの環境」を守る製品作りを目指しています。現地の人々の生活向上を図るとともに、環境保護に寄与する製品開発や情報発信を通して日本の消費者の方々に国際問題と環境問題に配慮したライフスタイルを提案しています。

生活協同組合コープみらい

コープみらいが取り組んでいる「環境」の取り組みを紹介します。コープが取り組んでいる「エコ活」の「使い捨てプラスチック」問題をテーマにプラスチック問題に関するクイズと「みつろうエコラップづくり」体験会を行います。

ライオン㈱千葉工場

環境活動の取り組みについてエコクイズを行いながらＰＲ活動します。

イオン株式会社

身近なお買い物というシーンの中で、イオンがお客さまと一緒に取り組む

環境保全活動について、わかりやすく・楽しく、ご紹介します。

千葉県環境生活部循環型社会推進課

循循環型社会づくりを進めるために３Ｒの推進、環境学習の推進などの施策に取り組んでいます。

特定非営利活動法人　環境カウンセラー千葉県協議会

①環境省認定「うちエコ診断」の実施（予定）②気候危機に関するパネルとクイズで、参加者と共　に考えるコーナーの設置③朝顔・ゴーヤの種配付とその効果等を理解し合えるコーナーの設置などを考えています。

NEXT GENERATION FOOD

近畿大学の学生が中心となり、昆虫食に関するこれまでの取り組みの企画展示とともに、物販などで盛り上げます。簡単に SDGs と昆虫食を知っていただけるワークショップも予定しています。

一般社団法人銀座環境会議

SDGs についてなにかしないといけないが、なにをすれば…そもそも SDGs がぼんやりとしかわからない…そんなご相談をよく受けます。ある種“当たり前のこと”である 17 の目標を暗記しても SDGs の本質はわかりません。カードゲームと、ゲーム中の自分や周囲の変化を振り返ることで SDGs の本質を”体感”し、さらに座学で理解を深めるセミナーをご紹介します。

千葉県地球温暖化防止活動推進センター / 千葉県地球温暖化防止活動推進員

タブレット PC を用いた家庭の省エネ簡易診断及び温暖化防止のアンケートやクールチョイスへの賛同を呼びかけるとともに各地域で活動している千葉県地球温暖化防止活動推進員のパネル紹介や各種ツールを使った温暖化防止の啓発活動を行います。

市原市

「緑のカーテン」で SDG ｓに取り組もう！市原市では、地球温暖化対策の一環として、「緑のカーテン」の設置を推進しています。臨海部企業に御協力いただき、庁舎へ設置した「緑のカーテン」の育て方や成長の様子をご紹介します。わたしたちができる

SDG ｓの取組みとして、「緑のカーテン」を設置してみませんか。

株式会社 LIXIL LHT 千葉支社

私たち LIXIL は住まいの「省エネ」と「健康・快適」な暮らしの両立を実現するために「室内温度」に着目し、”ヒトと地球にやさしい温度“の大切さを「学び・体感」を通じて、お客さま、地域社会、ビジネスパートナー及び従業員などの幅広いステークホルダーの環境意識を高め、行動変容を促すことを社会全体に広げていく活動をしております。

キリンビバレッジ株式会社

水や農産物など自然の恵みを利用する私たちにとって、地球環境の持続可能性は事業継続の前提であり、容器包装や気候変動影響への対応などのバリューチェーンでの環境負荷低減は経営基盤の強化にもつながります。キリングループは 2020 年に改定した「環境ビジョン 2050」のもと、ポジティブインパクトで、持続可能な地球環境を次世代につなげます。

千葉県環境生活部大気保全課・温暖化対策推進課

自動車による地球温暖化対策を促進するため、次世代自動車の普及促進に取り組んでいます。また、県ディーゼル条例に基づく事業者指導、アイ

ドリング・ストップの普及啓発などにより、大気環境の改善にも取り組んでいます。

千葉県環境研究センター企画情報室

千葉県環境研究センターは、環境に関する様々な調査・研究を行っている機関です。企画情報室では、「地域気候変動適応センター」として気候変動の影響や適応に関する情報を収集し、ホームページや YouTube チャンネル、講師派遣などにより県民の皆様に情報提供を行っています。

千葉市環境局環境保全部環境保全課温暖化対策室

千葉内の小中学生が考えた環境キャラクターのパネル展示を行い、環境に優しい取組みを紹介します。また、「２１２０年の天気予報」など５種類の気候危機啓発動画を放映します。

千葉市地球温暖化対策地域協議会

地球温暖化や気候危機を防ぐために、ご自身が実施していきたい環境に配慮した取組みを宣言する「わたしの気候危機行動宣言」を募集します。また、地域協議会の次世代分科会と平成３０年度千葉市環境学習モデル校の小学生が共同で作成したエコかるたを展示し、地球を守るためのエコな取組みを紹介します。

江戸川を綺麗にする会

江戸川のゴミ拾いを通じて、江戸川からごみを出さない活動を進めます。リサイクル、防災についても、自治体、メーカー、産廃処分会社等に　提案していきたいと思います。①廃プラスチックのリサイクル（アンカレッジ・ジャパン株式会社）②油化炭化装置のご紹介（株式会社トップ）③バイオマス発電について④浄水装置について等

三番瀬写真展実行委員会

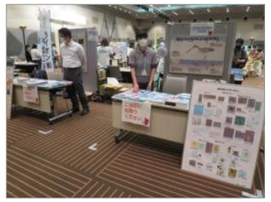
三番瀬の漁業の写真と生物の写真、貝殻工作体験

合同会社 BULA Earth

弊社主宰のネイチャーイラストオンラインレッスンについての資料をご用意し、ZOOM を使用したレッスンの様子を動画でご覧いただきます。ブース内にて、イラスト講師から実際のイラストレッスンの指導も受けられる予定です。

千葉県環境生活部水質保全課

水質汚濁防止法に係る指導・規制・監視、湖沼の水質浄化対策、地盤沈下対策、地下水・土壌汚染対策、浄化槽の適正管理指導等により、水環境の改善に取り組んでいます。



特定非営利活動法人 ちば里山センター

森林伐採に必要なロープワークの紹介、エンジンウィンチの紹介、一般的なロープワークの実演。

千葉県里山林保全整備推進地域協議会

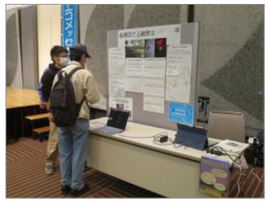
森林・山村多面的機能発揮交付金を活用した市民団体の森林整備や森林資源利用活動の紹介。

里山 Bewahrung

千葉県内５市（千葉市、市川市、船橋市、佐倉市、白井市）で取り組む自然環境保全活動について紹介します！

ふなばしホタル観察会

船橋市市内のホタルの生息状況や発生状況についての報告や、ホタルを含む里山の生態系の保全について情報交換を行いたいと考えています。



千葉県環境生活部自然保護課 生物多様性センター

県民、ＮＰＯ、行政、事業者、研究者などの拠り所となって、生物多様性に関する普及啓発から現場での調査や指導など幅広い分野の活動を担うとともに、多様な主体との連携による取組の推進のため、情報の収集・管理・提供、調査研究、シンクタンク機能、教育普及等を行っています。

千葉県農林水産部安全農業推進課

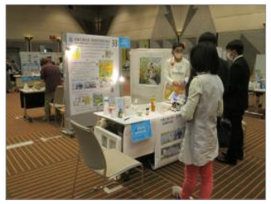
県独自の農産物認証制度である「ちばエコ農産物」制度や有機農業の推進などを通し、「環境にやさしい農業」を推進しています。

Partnership（パートナーシップ）

連帯の精神に基づき、すべての人々の参加により、このアジェンダの実施に必要な手段を動員する。

千葉工業大学 南澤研究室

千葉工業大学大学院先進工学研究科生命科学専攻、先進工学部生命科学科の学生で構成される南澤研究室です。南房総市×千葉工業大学　産学協働地域活力創造推進カレンデュラ（金盞花：キンセンカ）プロジェクトで実施している研究活動から、日本最古の千葉県南房総のカレンデュラにかかわる未知なる魅力を紹介します。



千葉大学環境 ISO 学生委員会

千葉大学環境 ISO 学生委員会の活動をパネルを使って紹介します！また子どもたちが環境を学べる、環境クイズやゲームも準備しています！ぜひお立ち寄りください。

印旛沼流域水循環健全化会議

印旛沼流域における水質改善、自然再生、親水性の向上などに取り組んでいます。

千葉県環境生活部県民生活課

NPO 活動やボランティア活動など、県民による自発的な社会貢献活動である「県民活動」を推進するとともに、NPO、地縁団体、学校、企業、行政など様々な主体の連携・協働による地域づくりの普及・促進を図っています。

オンライン出展

People（人間）

すべての人間が尊厳を持ち、平等に、かつ健全な環境の下でその潜在能力を発揮できるようにする。

タバコ問題を考える会･千葉（TMKC）

SDGs の目標達成のため千葉県内で様々なタバコ問題に取り組んでいる市民団体です。1999 年に活動をスタートし、学校での防煙教育や不法投棄された吸い殻の回収活動、公共の場や飲食店・企業等における受動喫煙対策の推進などに取組んでいます。現在は毎月 1 回オンラインミーティングを開催して意見交換会・受動喫煙被害の相談対応を行っています。

タバコ問題を考える会･千葉(TMKC)

養生健身法　天地の会

With コロナの時代に「あらゆる年齢の人が健康でよりよく生きられるように」4 つの健康法 (拍手ヨガダンス、セルフケア養生、森林ヨガ、声ヨガ呼吸法) で健康づくりをしている。公園ヨガ、老人会への出張教室、拍手ヨガダンス倶楽部などを定期開催し、他団体と連携して動画による指導、ミニ講習会などリモート開催にも取り組んでいる。

養生健身法　天地の会

アメジスト・アート出版

質の高い教育達成のために、絵本（印刷絵本・動画絵本・炉を制作、読み聞かせの教育をしている。

アメジスト･アート出版

千葉県立現代産業科学館

現代産業科学館には、現代産業の歴史や先端技術の展示があり、産業の発展の視点から環境問題等について学ぶことができます。また、ソーラークッカーなどの貸し出しキットを県内施設にご利用いただき、環境等について学ぶ機会を提供しています。併せて出張講座として学校や公民館に出向き、科学に関する学びを深めています。

千葉県立現代産業科学館

千葉県立長生高等学校サイエンス部地学班

私たち長生高校サイエンス部地学班では、マイクロプラスチックや水の浄化の研究を行っています。マイクロプラスチックの研究では、九十九里浜での実地調査を行い、この地域でのマイクロプラスチックの総量を推定しました。水の浄化の研究では、私たちの身の回りのものを用いて汚水を浄化する研究を行っています。

千葉県立長生高等学校サイエンス部地学班

株式会社 wash-plus

化学物質ゼロのアルカリイオン水を活用した「洗剤を不使用」のコインランドリーを展開しています。現在、業界初の排水レスコインランドリーを実証実験中。導入されれば、従来から 70 ～ 95％の節水に。今後は水資源が乏しい地域・国への展開や、洗濯時に発生するマイクロプラスチックによる海洋汚染等、広い視点で環境問題へ貢献を図ります。

株式会社wash-plus

Prosperity(豊かさ)

すべての人間が豊かで充実した生活を送れるようにする。

有限会社エムエスイー

創電気、創安全、各種制御盤設計、製作、販売、ケーブル Assy、太陽光発電事業、LIB 太陽光非常電源設備設計、製作、販売、ソーラー防犯灯、カメラ監視システム、再生エネルギーを使用した啓蒙活動に従事しています。

自然エネルギーを広めるネットワークちば

本会は、千葉県内において、市民・事業者･研究機関･行政のパートナーシップによって、従来型エネルギー（火力・原子力エネルギー）から自然エネルギー＝再生可能エネルギーへのシフトをめざす。もって、地域に密着した自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりを行う。

自然エネルギーを広めるネットワークちば

認定 NPO 法人 太陽光発電所ネットワーク千葉地域交流会

主に住宅用太陽光発電の普及・促進を図る活動を行っています。

認定NPO法人
太陽光発電所ネットワーク千葉地域交流会

房総ガス協議会　環境部会

房総ガス協議会は千葉県内の都市ガス事業者で構成しております。主な活動といたしましては、都市ガスの安全・安心などの普及促進、ガス工事にかかわる技能講習会などを開催するとともに、都市ガスの普及促進に努めております。

房総ガス協議会　環境部会

NACS 千葉分科会

公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）の千葉分科会は、千葉県在住の消費生活アドバイザーの研究会です。アドバイザーの視点で生活者の課題について勉強し、勉強して得られた知見を、皆様のお役に立てるべく、活動しています。お墓のこと･お葬式･エシカル消費についての研究成果について今までも発表し続けてきました。今回は 2019 年の台風が千葉県で大変大きな被害をもたらしたことを踏まえ、今後の減災について研究しました。

NACS千葉分科会

明治大学商学部水野勝之ゼミナール

明治大学商学部の中で水野勝之教授が始動するゼミナール。その中の 3 名が横芝光町の「とばっちり環境問題」を研究している。その 3 名の報告となる。

明治大学商学部水野勝之ゼミナール

千葉県県土整備部都市整備局公園緑地課

都市部の緑化を推進するため、緑のカーテンの普及啓発や公園整備などに取り組んでいます。

千葉県県土整備部都市整備局公園緑地課

NPO 法人いすみライフスタイル研究所

いすみ市で外房地域を対象としてまちづくりを行っています。地域資源の発掘、情報発信を行いながら、地域の魅力を伝え、地域活性化と移住定住促進活動に努めています。最近は、地域資源の活動と持続可能な再生産を目指した地域循環共生圏づくりを活動の柱の一つに据え、SDGs と ESD を視野に入れた環境の保全と啓蒙活動にも力を入れています。

NPO法人いすみライフスタイル研究所

カモミールの森

カモミールの森

Planet（地球）

持続可能な消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通じ、現在と将来の世代のニーズを充足できるようにする。

生活協同組合コープみらい

「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」をビジョンに

生活協同組合コープみらい

掲げ、組合員のくらしや地域社会で生まれた課題の解決に向けて、地域や団体等と共同して各地域で多様な取組みを推進しています。資源エネルギー問題等環境について学びあい、身近にできる取組みを進めています。

千葉県消費者センター

県内にお住まいの消費者の皆さんからの消費生活や多重債務、個人情報の保護に関する相談を受け付け、解決のための助言等を行っています。

花王グループカスタマーマーケティング株式会社

花王グループカスタマーマーケティング株式会社は花王グループ内の販売部門です。2019 年の花王 ESG 戦略 “Kirei Lifestyle Plan” 発表を機に社会コミュニケーション部門を設立し、SDG s 関連の課題解決に向けた生活者へのダイレクトなコミュニケーション活動を実施しております。主業務である、清潔・美・健康・環境分野での「啓発講座」や、地域の様々な課題に対してステークホルダーの皆さまと一緒に課題解決に取り組む「イベント活動」を通して、生活者の皆様の “キレイ” にお役立ち（＝社会貢献）を目指します。

千葉県地球温暖化防止活動推進センター / 千葉県地球温暖化防止活動推進員

温暖化防止のアンケートやクールチョイスへの賛同を呼びかけるとともに各地域での千葉県地球温暖化防止活動推進員の活動紹介を行います。

市原市

「緑のカーテン」で SDG s に取り組もう！市原市では、地球温暖化対策の一環として、「緑のカーテン」の設置を推進しています。臨海部企業に御協力いただき、市内の公共施設への物資配布や庁舎への設置を行っています。庁舎へ設置した「緑のカーテン」の育て方や成長の様子を紹介し、SDG s の目標である「気候変動に具体的な対策を」の取組みの一つとして提案します。

千葉県環境生活部温暖化対策推進課

「2050 年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」の表明を踏まえて、地球温暖化対策に係る取組を実施しています。

【実施事業】

地球温暖化対策、住宅用設備等脱炭素化促進事業、太陽光発電設備等共同購入支援事業、CO2CO2（コツコツ）スマート宣言事業所登録制度、次世代自動車の普及促進、エコドライブの普及啓発　等

千葉県農林水産部森林課

森林の持つ公益的機能の維持増進、県有財産の造成等を目的として、また民有林の模範となる適切な森林整備と安定的な木材供給を行うため、県営林において計画に沿った事業を実施しています。

ポーラス竹炭研究所

放置竹林をポーラス竹炭で解決する。

浦安三番瀬クリーンアップ大作戦実行委員会

浦安三番瀬クリーンアップ大作戦実行委員会は 1999 年から継続して三番瀬海岸のゴミ拾いをしています。2019 年よりイベント名を「うらやす三番瀬感謝祭」としました。

フィールドミュージアム・三番瀬の会

三番瀬で自然環境の啓発と保護を目的に、市民、学生、子供達、千葉中央博物館、船橋市と活動をしている。

植草学園大学

植草学園は、若葉区の小倉キャンパスに大学・短期大学を併設し、教育・保健医療・福祉分野で人材を養成している。ここには約２万㎡におよぶ「植草共生の森」がある。学園一体となって整備、環境保全に努め、「田植え体験」や「ビオトープ祭」などの各種イベントにより、学生・生徒・園児の環境教育、地域交流の場として、その役割を担っている。

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

ホタルをシンボルに水辺の生物の保護育成を主に、生物多様性の里を目指して 1 年間の活動紹介。

合資会社谷貝鐵工所

可視光の青による虫除けの製品、農業の分野の減農薬、地球温暖化防止活動、長残光な蓄光材による防災製品、カラー発光のネックレス、アクセサリー開発。

里山 Bewahrung

里地里山、里川、里海環境やそこに棲息・生育する生きものを守り、生態系や生物多様性を保全すること、千葉県内で地域の自然環境保全活動を行っている団体や個人のネットワークをつくることを目的とした、大学生・若手社会人が中心の任意団体です。現在、県内 5 市で活動している市民団体の皆さまにご協力いただき、一緒に活動を行っています。

Peace(平和)

恐怖と暴力のない平和で公正かつ包摂的な社会を育てる。

学生団体 CHANGE

学生団体 CHANGE は社会問題を学生の目線で考え、同世代の若者に対して意識啓発を行っています。団体としての大きな活動はなく、各大学で有志の大学生による・「SDGs についての研鑽」また独自での課題資料の研鑽・研究・各大学の教の元に伺い、意見を交換し合う・各大学祭で出展を行い、各大学ベースで SDGs について研究・発表に取り組んでいます。

Partnership（パートナーシップ）

連帯の精神に基づき、すべての人々の参加により、このアジェンダの実施に必要な手段を動員する。

特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

環境活動の推進と充実を図るため、多様な主体とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標（SDG s ）」や「持続可能な開発のた

めの教育（ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現を目指します。2021 年度は、「SDGs・ESD をひろげるための " ちば" 拠点づくり」を行っています。

特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

千葉大学環境 ISO 学生委員会

千葉大学の 1 ～ 3 年生、約 200 名が所属する環境マネジメントシステムを運営する学生団体です。環境マネジメントシステムの運用に必要な業務、学内・地域の環境活動や、環境意識啓発運動を学生主体で行っています。

千葉大学環境ISO学生委員会

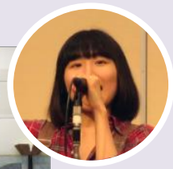
一般社団法人千葉県環境保全協議会

千葉県内製造業（鉄鋼、化学、電力等）を中心とする工場・事業場の公害防止管理者・環境管理者の育成や環境保全活動をサポートする会員企業団体です。

一般社団法人千葉県環境保全協議会

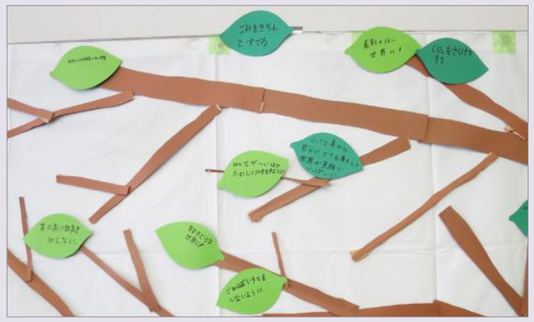
エコネコ ◎つやまあきひこ

● OMG ミニライブ



自然界ラッパーOMGさんが、フードロスドキュメンタリー映画「もったいないキッチン」の主題歌などを披露するミニライブを 3 回行い、会場を盛り上げてくれました。

●ウイッシュ・ツリー制作



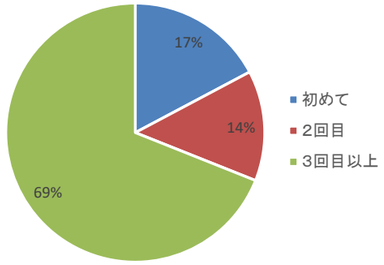
来場者に環境に関する願いを紙に書いて貼り出す「ウイッシュ・ツリー」イベントを行いました。実行委員企画の「かけ橋ラリー」参加者をはじめ来場者に書いていただいた「願い」を貼り出しました。

※ウイッシュ・ツリー（誰かの願いをかなえる木）

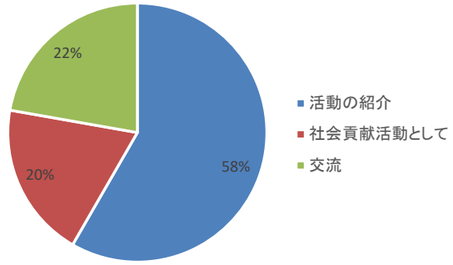
オノ・ヨーコが幼少時、日本で寺を参拝した際、紙片に願いごとを書き込んで木の枝に結んだ経験から着想を得たイベント。1996 年以来、世界中の美術館や文化施設等で開催された多くの展覧会で行われているほか、オノ・ヨーコ自身が世界中を旅してさまざまな人に願いごとや祈りの言葉を短冊に書くよう呼びかけている。

会場出展者アンケート

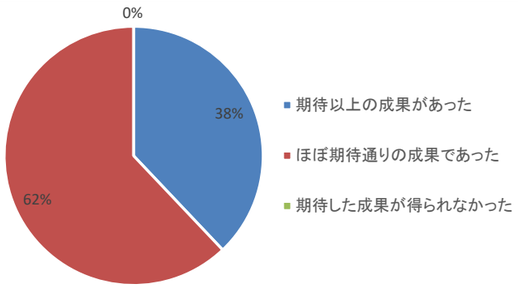
出展回数



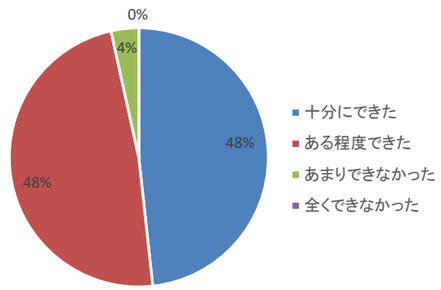
出展目的



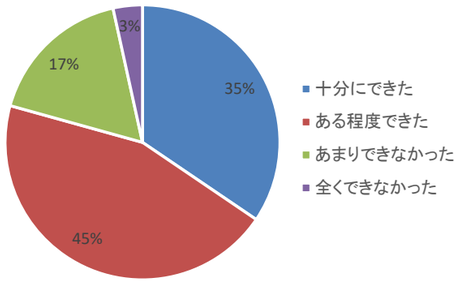
達成度



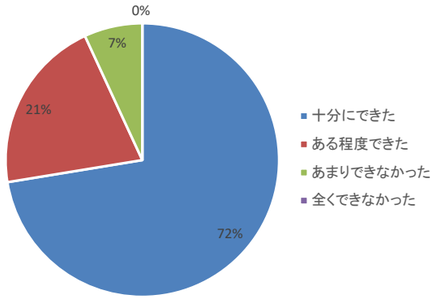
来場者との交流



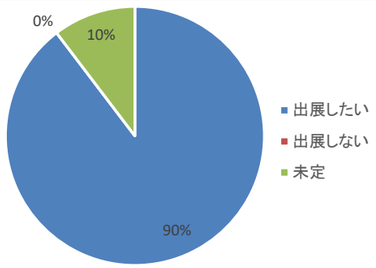
他の出展者との交流



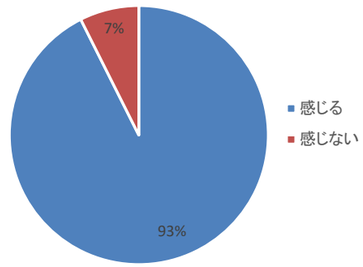
準備・搬入作業はスムーズに出来ましたか？



来年度出展



他団体との協力・連携する必要性



「第 28 回エコメッセ in ちば」開催のお知らせ

2023 年 10 月 14 日（オンライン）15 日（会場）
オンラインと幕張メッセで開催します。
募集要項など詳細は、2023 年 5 月に発表予定です。

2022 年度エコメッセ 協賛

株式会社テクノリライブ

BSC 実行委員会

（一社）千葉県産業資源循環協会

千葉県生活協同組合連合会

生活協同組合コープみらい

千葉銀行

京葉銀行

千葉興業銀行

（一社）千葉県経済協議会

（一社）千葉県環境保全協議会

エコトンボの会 / 日本エコトイ協会

2022 年度エコメッセ 後援

環境省関東地方環境事務所、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、（株）幕張メッセ、幕張新都心まちづくり協議会、千葉商工会議所、（一社）千葉県商工会議所連合会、（株）千葉日報社、（公益社団法人）千葉市観光協会、朝日新聞千葉総局、市原商工会議所、千葉県商工会連合会、毎日新聞社千葉支局 、読売新聞社千葉支局、東京新聞千葉支局、日本経済新聞社千葉支局、時事通信社千葉支局、（一社）共同通信社千葉支局、（株）ベイエフエム、千葉県ケーブルテレビ協議会、産経新聞社千葉総局、JICA 東京、日刊工業新聞社 千葉支局、ESD 活動支援センター

エコメッセちば実行委員会　2022 年度実行委員名簿

	部会等	氏名	会社・団体名称
1	委員長	桑波田　和子	（特非）環境パートナーシップちば代表理事
2	副委員長	城之内 聖康	千葉県環境生活部循環型社会推進課長
3	副委員長	葉岡部　循一	（一財）千葉県環境財団理事長
4	副委員長	秋山　智博	千葉市環境局環境保全部環境保全課温暖化対策室担当課長
5	副委員長	藤田　厳	（一社）千葉県経済協議会専務理事
6	会計監査	川嶋　博之	（一社）千葉県産業資源循環協会専務理事
7	会計監査	小池　由実子	（株）千葉興業銀行 お客さまサービス部部長
8	企画部	吉田 謙二	スマートビーンズ株式会社
9	企画部	柏　靖博	個人
10	企画部	石田　晶久	NPO 法人森林デザイン研究所
11	企画部	福満　美代子	NPO 法人ちば環境情報センター
12	企画部	奥山　淳梓	（特非）環境パートナーシップちば
13	企画部	土谷　悠太	学生団体おりがみ
14	企画部	鈴木　琉瑠	学生団体おりがみ
15	企画部	大澤　智史	学生団体おりがみ
16	企画部	八木　蓮太	学生団体おりがみ
17	企画部	大場　由佳理	学生団体おりがみ
18	広報部	KOUSAKU	まるごみＪＡＰＡＮ
19	広報部	山本　修嗣	千葉県環境生活部循環型社会推進課
20	広報部	伊豆　麻菜美	千葉市環境局環境保全部環境保全課温暖化対策室
21	広報部	斎藤　清	フィールドミュージアム・三番瀬の会
22	広報部	谷合　哲行	（株）テクノリライブ
23	広報部	鈴木　政幸	生活協同組合コープみらい
24	広報部	斉藤　則俊	（一社）千葉県環境保全協議会
25	広報部	大熊　敏志	市原市 環境部 環境管理課 地球温暖化対策係
26	広報部	江崎　亮	(有) イープロ、NPO 法人いすみライフスタイル研究所
27	事務局	宮下　朝光	認定 NPO 法人太陽光発電所ネットワーク千葉
28	事務局	横山　清美	（特非）環境パートナーシップちば
29	事務局	山口　幸一	（一財）千葉県環境財団
30	事務局	荒川　薫	（特非）環境パートナーシップちば
31	事務局	谷口 路代	（特非）環境パートナーシップちば
32	事務局	内山　真義	（特非）環境パートナーシップちば
33	実行委員	望月　靖子	（株）アイ・ティー・オー
34	実行委員	橋本　正	NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会
35	実行委員	竹内　香	千葉県生活協同組合連合会
36	実行委員	河原崎　滉一郎	個人

エコメッセちば実行委員会事務局

〒 260-0024　千葉県千葉市中央区中央港１－１１－１
（一財）千葉県環境財団業務部　環境活動支援課気付
エコメッセちば実行委員会事務局
電話：080-5374-0019　FAX：043-247-4152
E-mail：info@ecomesse.com　HP：https://www.ecomesse.com

ちば環境再生基金
マスコット
「ちば犬」

チーバくん
ちばSDGs
ちばSDGsパートナー919号

「エコメッセ 2022 in ちば」は、ちば環境再生基金「環境活動見本市等普及啓発支援事業」の助成を受けて実施しました。
※王子製紙 OK コートエコ G　環境に配慮した用紙を使用